

七月三十一日 日曜日

七時半起床。良く眠ったが、まだ休養が必要だ。幾つか電話して、のんびり室内の取材を待つ。十一時ジャスト、カメラマン鷲尾倫夫氏、室内編集部芝浦信用金庫君来。屋上で何がしかの写真をとる。十一時四〇分修了。宗柳でソバを食べ、散会。鷲尾氏より写真集いただく。午後は風が吹いて世田谷村は涼しくなった。休みながら、ポーツとしていると色々な事を考えてしまう。そのほとんどが考えても仕方の無い様な事である。今年も半分以上過ぎてしまった。

利根町百人スクールから利根町の新町長が出たようで、日出度い。百人スクールは現町長のリコール運動を成就し、なおかつ、新町長を出現させた。佐藤女史には勝っておごらず、影に隠れる、自己露出するなど一方的なアドヴァイスを贈りたい。しかし、市民、町民、村民の力は組織化されると実に強いものだ。

八月一日

七時前、サンパウロのマリア・セシリヤからの電話で起こされる。ひろしまハウス展覧会の件であった。ブラジルのセシリヤからの電話で八月が始まった感あり。酷暑の八月をしのぎたい。

丸の内で打ち合わせの後、夕方研究室に戻る。いくつかの打合わせ、連絡の後二十二時頃世田谷村に帰る。北京より大量のMセンター資料届く。G A Y J A P A N 展のインビテーションあり。今年北京プロジェクトを出展するつもり。

八月二日

七時前起床。新聞、TVは衆議院永岡議員の自死とスペース・シャトルの故障を報じている。シャトルの故障はアポロ十三号の故障を思い起こさせるもので、現代の抱える宿命だろう。

十三時半、地下鉄麹町、原口氏と待ち合わせ。十四時前、前内閣官房副長官古川貞二郎事務所に向かがう。北京プロジェクトの相談。古川前副長官は顔色も良く、大変お元気そうであった。又、お目にかかる事になるだろう。第一線の政治からは離れた方だが、私はこの人物に圧倒的な信頼を寄せている。十六時前終了。その後、近くのコンサルタント会社SHOWAにて、社長他と面談。色々相談。今日はこれで仕事は一段落の感じになってしまう。新宿高島屋の十三階のソバ屋で一休み。

八月三日

今日も暑い。午前中世田谷村で幾つかの連絡をこなす。十三時半研究室。S邸打合せ。他。十六時前S社来室。一九時までO邸打合せ。二十二時頃世田谷村に戻る。